

5. 2 高等専門教育小委員会

本委員会では、今期下記のような活動を行ってきた。

(1) 高専および専門学校部門における独自活動の活性化

専門学校は全国専門学校土木教育研究会（専土研）を立ち上げ、毎年、総会を開催し、意見交換会を実施している。平成21年度は8月20日（木）・21日（金）、中央工学校にて、第9回全国専門学校土木教育研究会を開催し、「土木の魅力をいかにして小中高生につたえるか？ PART 2」についての研究発表、専門教育の発表などを行った。平成22年度は8月19日（木）、20日（金）、日本工学院八王子専門学校にて第10回目を開催した。

(2) 土木教育賞の実施

平成22年度で7回目となる土木教育賞の実施を継続している。

平成21年度の受賞者は以下の3名であった。

土木教育賞	野口真生	福井工業高等専門学校
土木教育賞	森澤海里	高松工業高等専門学校
土木教育賞	坂本 論	松江工業高等専門学校

平成22年度の受賞者は以下の4名であった。

土木教育賞	白総 裕也	和歌山工業高等専門学校
	中嶋 弘幸	和歌山工業高等専門学校
土木教育賞	葛西 晃	八戸工業高等専門学校
土木教育賞	PHOMMACHANHSORLAXIN 中央工学校	

(3) 高専・専門学校版土木学会誌であるシビルタイムの発刊

土木学会高専版の土木学会誌（名称は、「シビルタイム」）第1号を発行した。この学会誌を基盤として全国の28高専が情報交流を進め、高専生と高専を盛り上げることによって、全国的な発展を目指すことが重要な目的となっている。内容は、第1号ということで、各高専の主任からの提言等や第1回土木学会全国高専学術講演会の講演概要が掲載されている。

(4) 第2回および第3回土木学会全国高専学術講演会の開催

高専における全国的な学術研究講演会で、年1回、全国各地で開催することを前提とする。本講演会には、高専の学生、専攻科生、教員だけでなく、高専関係者や企業の技術者などが参加可能とする。また、その学術研究講演においては、建設分野（土木、建築、環境など）における「ものづくり」に関する技術、土木技術者づくり、創造教育、アイデア・知財教育、学生自らの実践結果、教育審査・評価に関することなど、実践的な取り組みに関する学術研究の成果などについて講演発表を行うことを目的とする。さらに、毎年行われている土木教育賞の受賞者の講演も実施していく。

第2回土木学会全国高専学術講演会を平成22年3月23、24日に豊橋技術科学大学にて開催した。高専教員20名、高専学生11名、豊橋技術科学大学教員5名の参加を得ることができた。学生発表10件、高専教員発表4件、特別講演1件の発表があった。

第3回は長岡技科大学とし、3月26、27日にで、準備が整っていたが、震災の影響を考慮して延期となった。8月に豊橋技術科学大学で開催する方向で現在、準備を進めている。